

犬・猫用 電解質サポートは、細菌性下痢などの急性の吸収不良による消化管疾患の犬や猫に給与することを目的として、特別に調製された食事療法食（電解質補助液）です。この補助液は、下痢などによって喪失する電解質を補うためにミネラル成分を豊富に配合し、また水分の吸収をサポートする糖質（マルトデキストリン）およびグリシンを使用しています。

この食事療法食の対象



● 急性下痢

下痢を起こしている症例では、消化管粘膜からの水分の吸収量が減るとともに、水分の分泌量が増加するため、糞便中の水分量が増え脱水状態となります。これとともに電解質のバランスも崩れ、アシドーシスになることがあります。重度の脱水が見られる場合は経静脈補液が必要となりますが、軽度から中等度の脱水の場合は経口補液も推奨されます。本製品はこのような状態の犬・猫の水分や電解質補給、アシドーシス補正のためにクエン酸を配合して設計された経口補液です。

● 消化管の手術後

消化管手術後のエネルギー供給のために、単純に糖の量を増やすだけでは高張液となり、水分吸収性が低下します。本製品は糖およびナトリウムを基本として調製された経口補液剤で、溶解時に20kcal/100mLの糖の量を含有するように調製されています。エネルギー量を維持しながら浸透圧を下げ、水分の吸収効率を上げるために、糖を分子量の大きな形（マルトデキストリン）で配合しています。※マルトデキストリンとは数個のブドウ糖が結合した糖質の一種で、消化・吸収率が高いのが特徴です。

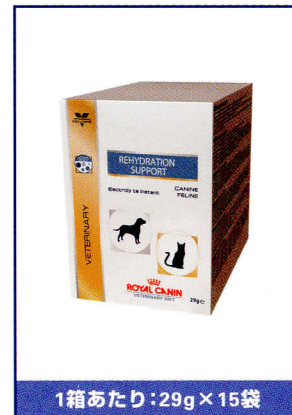
● 嘔吐（持続しないもの）・軽度の脱水

一過性の嘔吐や軽度の脱水の際の水分補給に使用できます。※継続して使用する場合も定期的な診察を奨励しています。

成分		単位/400kcal	
タンパク質	1.5g	銅	0.44mg
脂肪	—	亜鉛	—
食物繊維	—	ナトリウム	0.5g
灰分	2.6g	EPA+DHA	—
水分	1.2g	L-カルニチン	—
炭水化物	23.8g	タウリン	—
カルシウム	—	アルギニン	—
カリウム	0.4g	ビタミンE	—
リン	—	ビタミンC	—
マグネシウム	—	ビタミンB群	—
鉄	—		

↓やや制限 ↓↓制限 ↑やや強化 ↑↑強化

代謝エネルギー … 101kcal/袋
20kcal/100mL（溶解時）



1箱あたり：29g × 15袋

1日の給与量の目安

犬または猫の体重 (kg)	2~4	5~10	15~20	25~30	35~40	45~50	55~60
1日の給与量 (mL)	175~300	350~600	750~900	1050~1200	1350~1500	1650~1800	1950~2100

1袋(29g)に対し、ぬるま湯(約50℃)約500mLの割合で溶かして使用してください。ここに表示されている給与量はあくまでも目安です。個体差や活動量に応じて調整を行ってください。

使用が推奨されない病態等

● 無尿症

極端な脱水であり、経口補液の時期を逸しているため、循環血液量を増やすことが最優先です。

● 持続性の嘔吐

強酸性の胃液が消失し、アルカローシスになっているのでリンゲル液が適正です。

● 胃腸機能低下

電解質成分の吸収が期待できないため、経口補液の適用外です。

原材料

マルトデキストリン、グリシン、クエン酸ナトリウム、塩化カリウム、塩化ナトリウム
※調達の都合により、原材料を変更する場合がございます。

使用方法

犬・猫用 電解質サポート1袋(29g)を、ぬるま湯(約50℃)約500mLに溶かし、約530mLの電解質補助液として使用します。これは冷蔵庫で約24時間保存可能です。

追加情報

● 給与期間は獣医師の判断によりますが、電解質アンバランスの補正と、体液量の回復が目安となります。



犬・猫用食事療法食

栄養要求が高まっている犬・猫のために

ウェット

CANINE FELINE 退院サポート

RECOVERY PERIOD SUPPORT 098

電解質バランスが崩れている犬・猫のために

パウダー

CANINE FELINE 電解質サポート

REHYDRATION SUPPORT 099

栄養要求が高まっている犬・猫のために(流動食)

パウダー

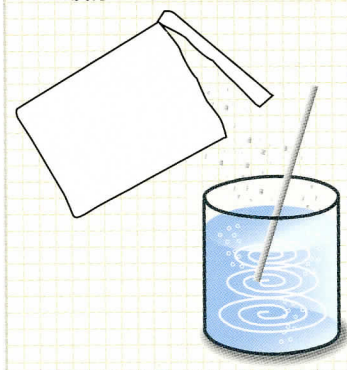
CANINE FELINE 高栄養・免疫サポート

CONVALESCENCE SUPPORT 100

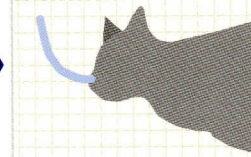


パウダータイプで、使用方法が広がりました。

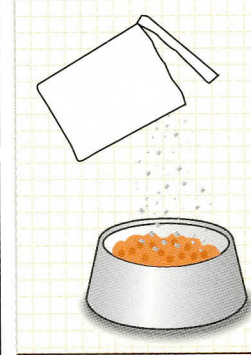
ぬるま湯(約50℃)に1袋を加えて攪拌。



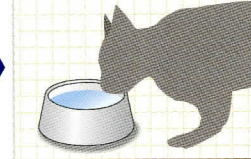
✓ 経腸用チューブによる給与。



✓ ウェット・ドライフードに直接振りかけて。



✓ 流動食*1/飲み物*2として給与。



- 調製済みの溶液は、最長24時間まで冷蔵可能。給与時には、体温まで加温してください。
- 粉末は60℃以上の温水には入れないでください。
- 1日量を最大5回まで分けることで、少しずつ頻回与えるようにします。
- ストレス時などには、粉末を通常の食事にサプリメントとして加えることもできます。

*1 高栄養・免疫サポート
*2 電解質サポート